

令和 6 年度大泉図書館 図書館利用者懇談会

1. 日時 令和 6 年 10 月 29 日（火） 10 時～11 時 30 分
2. 場所 大泉図書館 2 階 視聴覚室
3. 参加者 利用者 18 人 図書館 3 人（大泉図書館長、館長代理 2 人）
4. テーマ 「地域とつながるために―地域の一員として大泉図書館の役割を考える」
5. 配布資料 『これからの図書館構想の概要』
『大泉図書館の事業をご紹介します!』クリップ止め・13 枚
6. 次第
 1. 大泉図書館長挨拶
 2. 図書館職員紹介
 3. 事業紹介等
 4. 懇談

図書館利用者懇談会 会議録

1. 大泉図書館長 挨拶

皆様、こんにちは。大泉図書館長です。

これから「練馬区立大泉図書館令和 6 年度図書館利用者懇談会」を開会いたします。

改めまして、本日はご来館いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の懇談会ですが、まず前年度の利用者懇談会以降から今年度 10 月までに実施した事業の一部についてご報告いたします。

後半は、本日ご出席いただきました地域のみなさま、図書館を利用されている団体の皆さま、近隣施設の方々からご意見をいただく時間とさせていただきます。

今年度のテーマは「地域とつながるために―地域の一員として大泉図書館の役割を考える」といたしました。

11 時 30 分までの短い時間ではございますが、最後までよろしくお願い申し上げます。

2. 職員紹介

館長代理 2 人

3. 事業紹介等

「これからの図書館構想」概要版は、令和 4 年の 11 月に策定されたものです。本構想は、練馬区の 30 年後の目指すべき将来像を示した「グランドデザイン構想」、教育・子育て分野の施策の方向性を示した「練馬区教育・子育て大綱」をはじめ、区の様々な計画、構想と関

連するものです。

これからの図書館の理念やおおむね 10 年後の将来像、その実現に向けたコンセプトを示したものとなっています。

「これからの図書館構想」では、4 つのコンセプトが掲げられています。

大泉図書館はその立地からも、地域にねざした図書館として地域の方たちに親しまれています。

今まで当館では、地域とのつながりを大切にした運営を心掛けてきましたが、コロナ禍を経た現在でも地域の施設や、団体の人たちとの協働による様々な事業を行っています。

今回の図書館利用者懇談会では、昨年度の利用者懇談会以降に実施した事業の中から、今年度のテーマに則した、いくつかの事業についてご報告いたしました。

4. 懇談

利用者 「朗読のいずみ」です。10 月 27 日に、私たちの朗読発表会を開催いたしました。その時に図書館と協働という形で会場の設営をしていただき、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

図書館 ありがとうございます。大泉図書館ではいろんな団体の方が活動されています、活動の成果を発表する場として図書館を使っていたらいいなと思っており、何かそういったことをお考えの方は、気軽にお声かけいただければと思います。

利用者 地域とのつながりがすごく大事なんだな、図書館でいろんなイベントをされているんだなと思いました。ところで、ちょうどけさ図書館北側の道路で、自動車と自転車の事故があったのを見て、T 字路のところが危ないなと思ったのですが、最近こういった事故があったのかどうかと、図書館ができる安全対策がありましたら教えていただきたいです。

図書館 図書館西側の道路は、学園通りが混んでいるために、その抜け道として通行する自動車が多く、結構スピードを出しているのが見受けられます。また、近隣は自転車を利用される方も多く、自転車の方のマナーもあまりよくないと思っています。近隣に公的施設が少ないこともあり、何か起こった時には図書館にお声かけいただくことがあります。

図書館としてできることとしては、交通安全の啓発といった観点から、ずいぶん前になりますが、「くらし応援講座」のひとつとして、「安全・安心な自転車ライフのために」という安全に自転車をお使いいただくための講座を開催いたしました。

利用者 学園通りからあがってきた突き当りに一時停止のマークはあるんでしょうか？

図書館 T 字路の手前に「止まれ」の路面標示があり、電柱には標識と「危険止まれ! 左右確認」もあります。T 字路のところには、カーブミラーも設置されていて、通行する人たちに注意を促しています。

利用者 事業説明のお話をお聴きして、図書館の方が外に出かけて行ったり、館内でいろん

な事業をされているのがわかったんですが、私自身の経験としては、レファレンスサービスが印象的で、おぼろげな記憶で書名や著者名、いくつかのキーワードをお伝えすると、スタッフの方がぱっと反応して探してくださるのでとても助かっています。このような体験についてその事例を多くの方に広報するのも大事だと思います。

図書館 ありがとうございます。

利用者 私たち布の絵本のグループ「ひよこ」や、「浜中文庫を楽しむ会」のメンバーが図書館から帰る時、学園通りに出てバスに乗りたいので、信号がないところを渡ってしまうことがあって、危ないなと感じることがあります。それでも、高齢者は図書館に来て知と触れる、人と触れることで毎日が生き生きとしてくるわけだから、必死で図書館に来ています。希望をいうなら、図書館とか公共施設を回る循環バスがあったら、図書館に長く通っていた人たちが、いろんな障害があっても図書館に通うことができ、生活を豊かにすることができて、結局は社会的にも健康な高齢者が増えるのではと思います。交通安全面で、利用者のために努力していただければうれしいかなと思います。

図書館 ありがとうございます。この話題だけでなく、何かお話されたい方がいらっしゃいましたらお願いいたします。

利用者 「ねりまおはなしの会」と「大泉絵本の会」で、大泉図書館にお世話になっています。今日のテーマもそうですが、地域に開かれた図書館というコンセプトに基づいてずっと運営を続けてくださっていることに感謝しております。

ひとつご報告なんですけど、昨年度の利用者懇談会でリーシェガーデン大泉学園という施設の方とお会いしたんですが、私がねりまおはなしの会でおはなし会をしていることを申し上げましたら、施設でおはなし会をやってほしいと懇談会のあと依頼があって、おはなし会が実現しましてすでに3回行っております。11月1日には4回目となり、3か月に1回くらいの割合で行っております。この場で自分たちの活動についてお話したことがきっかけとなって、出会うことができました。

図書館 ありがとうございます。今お話くださったように、図書館に来ている人同士で、最初は全然知らなかったんだけど、そういう活動をされている人たちがいることがわかって、次につながるといのは、私たち図書館側としてもとてもうれしいことです。

利用者 早速つながってよかったですね。

図書館 活動していて、もっと活動の場を広げたいと思っている方と、求めている方がうまく図書館でマッチングさせていただけたのは、本当にありがたいと思っています。

利用者 先ほど図書館の事業報告の中にありましたけれど、いろんなところにいらっしゃっているということなので、またアドバイスいただきたいと思いながら聞いていました。施設は違っても共通する部分があると思いますので、またよろしく願い

します。

図書館 練馬区の中でも大泉地区って本当に端っこに位置していて、いわゆる練馬区の行政機関がある中心部から離れていますけれども、地域の人たちが自分たちで何とかしようという思いがすごく強くある地域だと思っていて、そのお手伝いを図書館ができたらいいなと思って、日々運営しているところなので、ひとつひとつの事例がつながっていくというのは、運営している私たちとしても本当にうれしいことですし、それをつなげていきたいと思っています。ありがとうございます。

利用者 私は豊玉に住んでいて、大泉図書館でお世話になっているのは「夏目漱石を読む練馬読書会」なんです。なのでこちらには月に2、3回しか来ないんですが、今ご報告いただいた事業ですが、1年間に行われる事業についてこんな順序でやるといった広報活動はされているのでしょうか？それとも、流れの中で出てきた企画をそのままアットランダムにやっているのでしょうか？

図書館 すべてのものを何も計画せずに進めているわけではなくて、大枠としては年次事業計画書を作成しておりまして、その中で決まっている事業もあれば、あとから外部からお声かけいただいて実施するものもあります。広報活動については、だいたい1か月前にスタートいたします。具体的には、館内にポスターを貼ったり、練馬区立図書館のホームページ上での告知や、募集人数がだいたいの目安なんですが事業の規模によっては、区報を使って広報することもあります。なかなか広報がいきわたらない部分もありますが、だいたい1か月前には何かしらの手段を使って告知をしています。

利用者 大泉図書館の入り口から入ってきたら、何かやっているなというのがわかるような、できるかぎり目立つところで広報活動をしていただきたいと思います。

図書館 ありがとうございます。目立つところということだと、1階の屋根があるところ、ピロティというんですが、そちらのガラス面で外向けにポスターを貼ったり、中に入ってきていただいて、入り口すぐのところにある切り株の横に大きなパネルが設置されていて、近々に実施するものについて広報しています。あとはカウンターまわりにチラシを置いてありますので、そのあたりを注意してご覧いただけるとよりわかりやすいかと思います。

利用者 ネットは使っていないのでしょうか？

図書館 練馬区立図書館のホームページがあります。ページのトップから図書館名をクリックすると、各図書館の行事案内に飛ぶことができます。

利用者 ありがとうございます。

利用者 布の絵本の制作をする「ひよこ」としても、浜中文庫を読むグループの方でも、メンバーがみんな読書家で、図書館でそれぞれの活動をするだけでなく、関連資料とかを読む人が多くて、図書館っていうのはやっぱり本が好きだなと思う人が集う場所で、図書館で読んだ本が面白かったと言われたら、次の人も借りるというや

り取りがあつてとてもよい環境だなあとと思います。

布の絵本に関しては、障害がある人のところへ布の絵本を借りて行ってくださつて、その方たちは本が来るのを待っていて、「今日は何を読ませてくれるんだろう。」つていうふうに喜んでいてという声を聞くと、本当によかったなと思っております。

その他にお伝えしたいのは、私が調べたいと思う本について、ちょっと一言話ただけで、ちゃちゃっと職員の方が調べてくださつて、これこれがありますと言つて持ってきてくださつて選ぶことができる、本当に的確に資料を探してくださつて、職員の方の能力というかそういう心がけを大変うれしく思っています。

そしてもうひとつ付け加えたいのは、リサイクル本がたくさんあつて、リサイクルコーナーで本を選んで帰ると、新しい世界に出合えることです。

自分の好みで本屋さんや図書館の棚で探すだけでは知らなかった世界が、リサイクル本を手にとることで自分の世界が新しくなって、来るたびに新しい世界に出合えるのは本当にうれしいことだと思っています。そして家で待っている夫に見せると夫も喜んでくれるから、リサイクルコーナーがあつてうれしいなと思っています。

図書館 ありがとうございます。

利用者 大泉ブックスタートの会です。布の絵本ということで、いつもブックスタートをやっている時、お母さんと赤ちゃんに紹介しているので本当に助かっています。肌触りが柔らかかったり、とても温かみのある素材なので、とても助かっているのと、どなたでも触ったりして楽しめるのがよいと思います。図書館の中で見ることはできても、貸出しができて作品数も多いのは珍しいと思います。

図書館 そうなんです。とっても素敵なんです。ふだんは児童室に置かれているのですが、年に1度大人の方にも見ていただけるように、館内に入ってすぐの雑誌コーナーで1か月間展示させていただいて、今年も11月26日から新作も含め展示を行います。

利用者 意外と男の人に人気があつて、5月に光が丘図書館で布の絵本の展示会をやった時にも、お子さんよりもお父さんの方が夢中みたいな感じで、今度また大泉図書館で紹介してくださるということで、ご覧になったら触ってみてくださつて、これがひと針ひと針縫われていることによる、印刷物にない本の魅力を感じていただければと思います。どうぞよろしくお願いします。

利用者 私は布の絵本には関わっていないんですけど、上野にある国際子ども図書館で「バリアフリー児童図書展」をした時にちょっと関わりまして調べましたら、布の絵本の貸出を最初にしたのが練馬区だったということがわかりまして、そこは誇っていいんじゃないかと、みなさんにそのことを自慢したくてお話ししました。

図書館 ありがとうございます。先ほどリサイクル本のお話が出たんですが、リサイクル本

は基本的に図書館のリサイクルコーナーに置かれているものなのですが、それについて外に飛び出してみようと、ちょっとずつ試みているところです。先ほど事業説明の中でお話した、「おでかけ図書館」白子川源流まつりの際に、「白子川図書館」と命名しまして、そこにリサイクル本を持って行って、いらっしゃった方とお話しながら自由にお持ち帰りいただけるような試みをいたしました。この試みも少しずつ広げていきたいと思っていて、今年度も違う場所でやろうとしているところでもあります。この間ねりま健育会病院で地域のお祭りを初めてされた時にちょっと拝見させていただきまして、そういった場所でもやれるように考えてみようと思っているところなので、リサイクル本をうまく活用していろんな人につなげていきたいと考えています。

利用者 はつらつセンター大泉です。今度「はつらつこどもフェス」をやるんですが、ご協力いただくということで、子供向けの本を持ってきていただけるということで、早速活用させていただきます。ありがとうございます。

はつらつセンターって皆さんご存じですか？高架下にある施設なのですが、ちょうどオープンして8年経ちまして、60歳以上の区民の方を対象に、健康づくりやレクリエーション等の事業や活動の場を総合的に提供する介護予防施設ですが、区民の方はどなたでも来館していただいてよい施設なんです。館内に交流談話サロンという場所がありまして、そこは放課後お子さんがいらっしゃって、勉強をしたりできるようなちょっとした居場所としてお使いいただけますので、ぜひいらっしゃってください。さきほどお話に出てきた本の朗読とかでも、ぜひ当館でもやっていただきたいと思います。

図書館には開設時からブックトークなどでお世話になっていて、今年度はこれからですが、今後ともよろしく願いいたします。みなさんもぜひ気軽にお立ち寄りください。

利用者 古い本を図書館で引き受けていただけるとのことですが…。

図書館 寄贈につきましては、図書館で受付けていますので、別途ご相談いただければと思います。

利用者 夏目漱石の講座をやっている団体なのですが、現在この図書館で文学関係、藤沢周平の会があるのは知っているのですが、例えばその他に作家関係に関する読書会というのは何かあるんでしょうか？

図書館 団体ですと、シェイクスピアについて勉強されている方たちがいらっしゃいます。あとは、特定の作家ではないんですが、会の名称として「名作を読む会」という方たちがいらっしゃいます。

利用者 昨年も申し上げたんですが、横の交流が全くないんですよね。それぞれが何かしらやっていらっしゃるかと思いますので、お互いの情報を共有できたらと思っています。私たちの会は、自由に参加していただきたいと思っているので、こういうお

話をしたんですが、どういうグループがこの図書館で活動しているかというのがつかめないの、少しでもお互いが会員を増やしたりできれば、漱石の会の活動ももう少し幅を広げられるのではと感じています。もし、そういう会があるんだしたら、参加させていただければいいなと思っています。

もしよろしければ後で、それぞれの会の開催日とか詳細を教えていただければと思います。

図書館 それぞれの団体がどう考えて活動されているかというところは、わからない部分もありますが、どなたでも参加して大丈夫な団体でしたら、団体掲示板をお使いいただいて告知していただくことも可能です。

団体によっては、より多くの方に参加してほしいというところと、決まった人だけで活動したいというところもあるかもしれないですね。

利用者 昨年朗読の会の方からのお話を受けて、そちらのお手伝いをさせていただいているんですが、私が朗読の会に参加することによって、そちらと私たちの読書会との間で交流ができたので、プラスの面がありましたが、今のところ閉じた形でなかなかわからないので、他の団体の情報をいただければと思っています。

利用者 まったく違う分野の方たちと交流できるように、図書館側が何か考えていただけると、面白い交流ができるかなと思います。

図書館 ありがとうございます。まだご発言いただいていない方、何かございますか？

利用者 大泉障害者地域生活支援センターさくらです。先ほど協力事業を紹介していたのですが、今年度は「地域福祉公開講座」のひとつとして、「難病と本と私」を行いました。今までも年に一度の割合で、高次脳機能障害当事者の方に、今までの人生についてお話していただいたり、発達障害に関わるドキュメンタリー映画を観てから参加者で話し合う講座を一緒に行っています。その中でひとつ課題に思っていることが、広報をどうするかというところです。有名な先生に講師をお願いするとあっという間にうまってしまう講座もありますが、障害者とか当事者の方にお話しいただくという場合、なかなかなじみがなかったり、その障害にちょっとでも興味がないものだと、なかなか人が集まらない。区報に出したり、1か月前に図書館で掲示してもらったり、当館の広報誌に掲載したり様々な方法で手を尽くして広報しても集まらないという現実があります。

大泉図書館で講座をやるからには、日々図書館を使っている人に来てほしいですね。ふだん使っている人にここで開催するというのがどこまで周知できているのかなと思っています。月に1回くらいしか来ないという人だと、タイミングによってはその情報を知らないで、終わった後でこんな講座もあったんだとなると、そこはもったいないなと思っています。なんか少しやり方を変えて、図書館に来る方の目につくような機会を増やすのもいいのかなと感じました。

図書館 ありがとうございます。広報のタイミングって難しくて、当館で実施した在宅療養

の後日上映会は、まとめて地域医療課が広報してくださるのですが、そのためとても早く広報が始まるんです、3 か月前というタイミングで。そうすると募集開始から実際に開催されるまでに時間が空きすぎて、忘れてしまったり、その間に予定が入ってしまったりとかがあって、広報のしかたとか、どんな媒体を使うかなどなかなか難しいと思っています。図書館で事業を行うことについてですが、ふだん図書館を利用してくださる方に来ていただくことだけでなく、より多くの方が参加しやすい環境をつくることとか、講座のテーマに沿った関連資料を展示し、ご利用いただいてより理解を深めていただくことも目的としています。障害者サービス関連の講座は、割と硬めのテーマが多くなると思いますが、さくらでの開催ですと、そちらの利用者がメインとなるところを、図書館での開催ですとより不特定多数の方が来館される場所なので、参加することに対してハードルが低くなると思いますので、図書館への来館者に向けて、うまく広報できたらと考えています。

利用者 広報についてですが、区報に載せられるものも限られていて、ホームページもあまり早くに出しても、新しい情報が掲載されるとどんどん古い情報が下がっていつてしまう感じがあります。区報やホームページがそんなふうなので、図書館の入り口に通常のもの以外の行事について、大きく書き出したものが貼られていて、ここを見たら大泉図書館を利用する人にはある程度わかるといったものがあれば、周知できるのではないかと思います。

利用者 それに関してですが、先日私たちが講座をやった時なんですが、立て看板を出していただけないかという話をしたことがあります。

図書館 図書館で事業をする時には、入り口の外にA看板を出していて、今日はこんな催しが開催されているというのをお知らせしています。

利用者 今回の講座について、10 月 1 日号の区報に掲載していただいたんですが、もっと間近に依頼したほうがよいかとも思ったのですが、結果的にはあまり変わらなかったです。

利用者 ちょっと補足ですが、区報をはじめいくつかの広報媒体を使ったんですが、区報を見てこられた方が全体の 90%以上を占めていました。図書館で掲示物を見てこられた方は 2 人だけということで、図書館を利用した広報の弱さを感じましたので、何かしら工夫をしていただければと思います。

利用者 いま団体の情報が掲示されているのは、エレベーター脇のところだけですね。

図書館 団体掲示板をつくらうとした時に、どこに設置するかとても迷ったのですが、当館の館内は広いものの、壁が少ないこともあって、奥の方だと決まった利用者しか行かないと思いまして、今掲示板があるところは一面すべてが区のリサイクル掲示板だったんですが、リサイクルについてはいろんな方が興味を持ってご覧になる場所であり、エレベーターに乗る人にも見ていただけるということで、苦肉の策としてあの場所に設置しました。

- 利用者 さっき別の方から発言がありましたように、入り口の目立つところに大きめに
していただけると、多くの方の目に留まるんじゃないかと思います。
- 図書館 場所とか形とか検討しながらといったところですね。
- 利用者 入り口を入ったところの左側の掲示板なんですけど、いくつものポスターが貼ら
れていると、逆に目立たなくなってしまうので、それよりはどんな行事がいつ
開催されるかといったことだけの方が、目立つなって感じました。
- 図書館 課題はいろいろありますね。
- 利用者 大泉北敬老館です。私たちは図書館に当館のお便りを置いていただいています。今
現在は図書館との直接的な交流はないんですけど、12 月には当館が定期購読し
ている本屋さんと連携しまして、お子さんが高齢者に本をよみかかせするという
催しを行います。今日たくさんのお話を伺うことができましたので、今後地域の方
と交流ができたらいいなと思ひまして、その節には図書館の方にもご協力いた
だきたいと思ひますので、よろしくお願いします。
- 図書館 もちろんです。よろしくお願いいたします。
- 利用者 大泉学園地域包括支援センターです。毎月図書館の部屋を使って、認知症のご本人
やご家族が集まって気軽にお話をする会を開催しています。私は以前別の場所に
いたんですが、図書館とこういった形で地域とつながるってことがなかなか
あったのですが、図書館のお部屋を使わせていただいて、会の冒頭に図書館の方
から本を紹介していただけることに感謝しています。私ですが、4 月から生活支援
コーディネーターとして、地域のいろんな情報と元気な高齢者をつなぐ役割として、練
馬区で 4 月から始まった事業の担当としてやってきました。図書館で活動されて
いるいろんな団体があることがわかりましたので、多くの人に参加してほしいと
思われている方々と地域の方とをつなげていきたいと思ひますので、ご協力
お願いできたらと思ひます。
- 図書館 ねりま健育会病院さん、先日地域貢献のための取組みをされたいとお聞きしてい
ましたが、何かございましたらお話ください。
- 利用者 大泉学園複合施設のねりま健育会病院です。当施設はリハビリ専門の病院と、介護
老人保健施設といった、リハビリの医療保険と介護保を使った施設が一緒になっ
ている場所です。開設して 8 年経っているんですけど、先ほどお話に出てきたリー
シェガーデン大泉学園のすぐそばに建っている建物です。今まで敬老の日に、患者
様やご家族をお呼びして、職員が催し物を行っていたんですが、今年度初めて地域
貢献活動というところで、今回はちょっと遅くなってしまったので図書館との連
携は実現しませんでしたけど、町内会の方、例えばあわや惣兵衛さんが団子を焼いて
販売してくださったり、こぐれ村さんが直売所みたいなものをしてくださったり
とか、広い駐車場のスペースを使って、地域でいろんな活動をされている方々に出
店いただく場を提供することを試みたので、今後そういう活動を継続的にやって

いきたいというのがあります。

それで私たちが日ごろ閉塞的な環境にいるのもあって、地域の方がどういった活動をしているのかというの、今まで全然知る機会がありませんでした。大泉図書館が館の中でも外でも地域との連携事業をされているし、図書館のイメージが私の中でガラッと変わったなっていう印象で、本日参加させていただいていました。なので、最初に話されていたような活動のマッチングみたいなところについては、団体の方々が行われる活動の発表会などに今後参加させていただいて、私たちの施設にも来ていただいて活動していただけないかというような具体的な相談などもさせていただけたらと思います。私たちの施設の患者様も、地域の方を優先的に受入れていますので、退院されてご自宅に戻っていただくにあたって、地域への社会参加を目指しているところです。先ほどのお話にありました、高次脳機能障害のある方たちの家族会に一職員として参加しているものもおりますので、横のつながりというものもできたらなと思っています。

図書館 ありがとうございます。今日ご紹介した中にも、例えばアニメプロジェクトですとか、何かしら最初にご一緒してそのつながりを次につなげるといったこともありますので、どんなことでも大泉図書館に相談していただけたら、当館ではできなくてもどこかにお声かけできるとか、この人がこういう特技を持っているとか何かしら解決策があると思いますので、そういった意味で図書館がひとと人をつなげるというのが、大泉図書館の役割のひとつかなと思っています。今日のテーマにも重なる部分なんですけど、例えば高齢者の困りごとは大泉学園通り地域包括支援センターがとか、障害者についてなら障害者地域生活支援センターさくらが窓口だなというのはあると思いますが、地域の中で広く何かということでしたら、図書館がまずきっかけをつくれるのではないかと思いますので、協力させていただきたいので、これからもよろしくお願いいたします。

利用者 私は朗読の会と体操の会に参加していますが、大泉に引っ越してきて一番よかったのが図書館が近くにあったということで、本が好きなので週 2 回は必ず図書館に来ています。

利用者 さざ波会という団体で、仮名の書道のためにお部屋を利用して活動しています。懇談会に参加させていただいて思うことは、図書館と一般の方たちとの連携がどんどん深まっていて、今までの図書館とイメージの枠を超えてすごく大きなスケールの図書館を目指して、みなさんと連携していらっしゃるなって感じる度合いが大きくなっていて、このままこういう活動を続けていってほしいなと思います。さきほど図書館でのいい講演をご紹介いただいたので、この次からは自分たちの活動だけでなく、イベントのポスターを拝見して参加させていただきたいと思いますし、会員のみなさんにもお伝えしようと思います。本日はありがとうございました。

- 図書館 ありがとうございます。翔の会さん何かありましたらお願いいたします。
- 利用者 翔の会です。30年くらいこちらのお部屋を使って、短歌を詠む活動をしています。初めは15人くらい会員がいたんですが、年々減って今は5人くらいでやっています。今日は皆さんの活動の様子を幅広く聞かせていただいて、図書館が本当に役に立っていることに感謝しています。
- 図書館 ありがとうございます。それでは文庫連の関係の方がいらっしゃるようですが、何かありましたらお願いいたします。
- 利用者 練馬区には家庭文庫のつながりがしっかりした団体がありまして、各図書館の懇談会に出席することになっておりまして、今回参加しました。広報の問題はどの団体もやっぱり難しいので、永遠のテーマかなと感じています。これからもいい方法を考えていけたらいいかなと思います。
- 図書館 ありがとうございます。本日のテーマにいったん戻る感じなんですけれど、地域の一員として、大泉図書館の役割を考えるとということで、今日皆さんからいただいたご意見や、私からお話いたしました図書館がいろんな人、いろんな団体をつなげていくという方向は、それでよいのでしょうかという確認の意味も含めこんな感じで大丈夫でしょうか？
- 利用者 大丈夫です。というのが、いろんな相談がしやすいですし、私たちが何か相談するとちゃんと答えていただけるので、活動するうえで助かっています。
- 図書館 ありがとうございます。
- 利用者 これからもこのままこういう図書館でいていただければなと思っています。
- 図書館 ありがとうございます。今年度は夏目漱石を読む練馬読書会さんと、朗読のいずみさんの発表会を一緒にさせていただいたんですが、大泉図書館で活動されている団体の方々と、広く外に向けてご自分たちの活動を知っていただきたいとかありましたら、できる方法を一緒に考えてやっていきたいと思いますので、ぜひお声かけください。まだ発言したりないですとか、これだけは言っておきたいということがございましたらどうぞ。
- 利用者 私は布の絵本とおはなしの会をやっているんですが、いろいろな予定がわかるといいなというお話について、大きなスケジュール表みたいなものがあって、その中で常時開催されている行事と、皆さんが参加できるものとかを項目分けしながら紹介してくださるといいのかなと思いました。皆さんがやっていらっしゃることの周知プラス企画された行事の予定が両方わかることがいいんじゃないかなと思いました。それから、私たちのおはなしの会がリーシェガーデン大泉学園とつながることができたように、またどこかでやれる機会があるといいなと思っています。近隣では、児童館や学校でおはなし会をしたりしていますけれど、お声がかかればぜひ伺いたいと思っています。それから、何年か前に図書館で大人のためのおはなし会をやったことがあるんですが、皆さんによみかせではないおはなしの世界

を知っていただけたらと思っています。

利用者 私たちの会では、先生が昨年亡くなって、これからどうしようって会のみんなと話したことがありますて、その時館長にご相談して指導してくださる方につないでいただきました。そのおかげで継続することができて、本当に仲介していただいてありがとうございました。だから何でも相談して大丈夫ですよ。

図書館 できないこともあります、一応お声かけいただきましたら、考えて自分ができなかったとしても、どなたかできる方がいらっしゃらないか検討します。できることとできないことがあります、図書館として考えなければと思うことについては、一緒に考えていきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

図書館 本日は短い時間ですが、ありがとうございました。ご意見などございましたら、いつでもお声かけいただければと思います。大泉図書館は、この地域に住む住民の皆さんの願いによって建てられた図書館です、図書館への思いはずっと、40 年以上経っても続いている図書館だと思います。地域に住む様々な方が幸せに暮らせるためのお手伝いできればと思っています。大泉図書館は地域の皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っていますので、これからもよろしくお願いいたします。

5. 閉会の挨拶

図書館 では、時間となりましたのでこれで閉会とさせていただきます。引き続き図書館の運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお光が丘図書館の懇談会は 11 月 22 日 金曜日午前 10 時から 12 時まで行われます。本日は貴重なご意見をいただきまして、まことにありがとうございます。